

月刊 社会保険 12

2018 VOL.821

一般社団法人
全国社会保険協会連合会

2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現

協会けんぽからのお知らせ

平成30年10月9日よりマイナンバー制度による情報連携の本格運用が開始となり、添付書類が省略できます。

日本年金機構からのお知らせ

電子申請・電子媒体申請に関する照会先が変わりました。
厚生年金保険料等の徴収機関として、法令に基づく滞納整理を強化します。
報酬・賞与の区分が明確化されました。
「ねんきんネット」ご利用者様へメールを配信しています。

平成29年度年金積立金の運用状況についてー概要ー
(年金積立金管理運用独立行政法人法第23条に基づく公表資料)

平成30年度厚生労働省補正予算の概要

消費税率引上げとそれに伴う対応について(臨時閣議における総理発言)

2040年を展望し、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現	5
協会けんぽからのお知らせ	
平成30年10月9日よりマイナンバー制度による情報連携の本格運用が開始となり、添付書類が省略できます。	10
日本年金機構からのお知らせ	
電子申請・電子媒体申請に関する照会先が変わりました。	11
厚生年金保険料等の徴収機関として、法令に基づく滞納整理を強化します。	
報酬・賞与の区分が明確化されました。	
「ねんきんネット」ご利用者様へメールを配信しています。	12
平成29年度年金積立金の運用状況について—概要—(年金積立金管理運用独立行政法人法第28条に基づく公表資料)	14
平成30年度厚生労働省補正予算の概要	16
消費税率引上げとそれに伴う対応について(臨時閣議における総理発言)	17
年金・健康保険委員活動報告 社会保険委員になって	
株式会社クルス代表取締役会長・持世寺温泉株式会社代表取締役社長 西野 英夫	18
書評 山口 育子 著『賢い患者』	20
サステイナブル	
持続可能な社会の扉を開けた人たち	
第3回(後編) イノベーションを生むサステイナビリティは企業も魅了する。	
ネスレ日本株式会社執行役員コーポレートアフェアーズ統括部長 嘉納 未来	
株式会社朝日エル会長 岡山 慶子	21
自分が変われば会社も変わる!? ビジネスチャンスを広げる行動変容 第8回 オマエ呼ばわり	
埼玉学園大学教授 古澤 照幸	24
さまざまな視点から考える認知症	
第8回 医療者の立場から、これから認知症の医療に求められるもの—医療者の視点②—	
東京都立松沢病院院長・NPO法人ハート・リング運動評議員 齋藤 正彦	26
認知症を予防する 第8回 長寿と遺伝	
お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36	
特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のことば——竹内敏信 「光の響」**「樹の風景」**

てしかが 北海道弟子屈町



北海道の雪は都会の雪と違い、水分が少なくふわふわとしている。降り積もったときにボリューム感があり、その特徴が魅力である。

私が思う雪でもっとも美しいのは、降りやんだ瞬間である。この写真もそうである。木々に化粧をするように雪を施し、幻想的な風景にしてくれる。雪がやんでからの美しい風景は、実に短い時間である。

北海道ではすぐに吹雪いてしまい、撮影が困難になる。吹雪がなくても、わずかに上がる気温で雪が溶け出し、木々から落ちて風景がだらしなくなる。

美しい風景とは、一瞬だからこそ魅力があるのだ。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

社会保険委員になって



株式会社クルス代表取締役会長
持世寺温泉株式会社代表取締役社長
西野 英夫

●はじめに

平成23年3月11日、山口市のセントコアホテルで開催される山口県社会保険協会の合同役員会に出席するため、午後2時過ぎに山陽本線宇部駅より電車に乗った。会場に早めに到着しロビーで待機していたとき、関東地方で地震が発生したと噂で知った。

そのときはあまり気にも留めず、予定どおり午後4時からの役員会に出席、その後午後6時より夕食を取りながら意見交換会、情報交換会が開催された。帰宅後ニュースを見て、食事をしていたときにたくさんの方が津波により亡くなられていたことを知り、愕然としたのを覚えている。私は、その後関係会社に転職したので、山口県社会保険協会宇部支部副支部長として最後の合同役員会であった。

●社会保険委員委嘱

私は昭和45年4月に山口県宇部市の新光産業株式会社本社に入社し、当初は総務部庶務課に配属、その後昭和51年12月に機械器具製造の工場の労務部に転動した。そのときより150人の従業員の給与計

算を任せられ、否が応でも社会保険の知識を習得する必要に迫られ、上司より社会保険委員として委嘱を受けるように命令された。

健康保険、厚生年金保険、雇用保険のしくみを一生懸命勉強し、従業員よりいろいろと相談を受けた。その甲斐もあって労働組合との賃上げ、賞与一時金の交渉もある程度スムーズに解決した。

その後昭和58年6月に製鋼業の工場(従業員180人)の総務部に転動、そこでは上司が宇部社会保険委員会宇部東支部長として活動していた。1年後その上司が退職して宇部社会保険委員会東支部の役員に就任し、5年後に上司が支部長をされていたというので私が42歳のとき支部長の職に就いた。

そのときから他社の役員との交流が盛んになり、さらに行事の打合せ等で社会保険事務所に頻繁に入りするようになり人脈が広がった。また、その工場では毎月社内報を発行していて、私が編集長を任せられた。社内報には社員の状況、毎月の生産目標、生産実績、安全管理体制の周知、そして社会保険や税制の改正点を掲載し、空いたスペース



上の湯



豆腐工房

には健康管理の情報も載せた。

宇部社会保険委員会宇部東支部長に就任したときは大変あわただ

しい毎日を送っていたが、今思えば充実したときを過ごせた、と感謝している。

●自身の健康管理

メタボリックシンドロームという言葉を耳にするようになり、私には関係ないと思っていたが、あるとき健康診断の結果、保健婦から「あなたはメタボですよ」といわれ、保健婦による指導を受けることになった。

「食事、アルコールの摂取量の減少か運動量を増やす、のどちらかをとりあえず実施してみてください」とのことであった。前者は到底無理なので、運動量を増やすことを目標に掲げた。手取り早いのが歩くことだと思いい、万歩計を買い毎日1万歩を目指すことを決め、自宅から会社まで歩くことにした。約5キロを1時間ぐらいかけて、毎日徒歩通勤をした。雨の日も雪の日も毎日意地でも歩いた。その甲斐あって1年後にメタボといわれなくなった。今でもできるだけ歩くようにしている。

●表彰

平成4年11月社会保険庁長官表

彰、平成16年11月厚生労働大臣表彰を受賞して、その都度受賞に恥じないよう社会保険事務所とのパイプ役を務め、情報の収集、そして従業員に情報の提供をして従業員から信頼される社会保険委員を目指した。

●会社紹介

株式会社クルス

新光産業株式会社の100%出資の子会社で従業員12名、設立は昭和42年2月で昨年創立50周年を迎えた。

主に個人住宅の新築、リフォーム工事および水道、ガス配管工事(特に水道は宇部市の本管工事指定事業者)、そして生保、損保の代理店業務に事業を展開している。企業理念は「地域社会に認められ、お客様に信頼される会社」として、社員一同少人数でがんばっている。また社会保険委員による健康診断2次健康診者には徹底調査を実施して健康管理に努めている。

持世寺温泉株式会社「上の湯」

新光産業株式会社の子会社で従業員20名、昭和41年6月に設立。山口県宇部市厚東区霜降山のふもと、

厚東川の清流に沿う位置にあり、湯量豊富な天然温泉で屋号を「上の湯」とし、旅館部、温泉センターを併設して事業展開している。その後、利用客増加を見込み平成16年6月に豆腐工房をオープンした。豆腐(商品名「豆汰豆蔵」)は昔ながらの石うすで豆を挽く製造方法で豆本来のうま味を引き出し、今では宇部市内はもとより市外、県外からも買い求めに來られるお客様で予想を超えて売上げが伸びている。また山口県社会保険協会より、温泉センターは利用助成施設として登録していただいている。



株式会社クルス

役に立ちたいと思っている。

また、社会保険委員として活動してきた他社の方々とは年3〜4回飲み会を実施して、昔の思い出話を話させている。今後も生きていく限り開催しようと誓い合い、飲み会を終えている。

(山口県宇部社会保険委員会 山口県社会保険協会宇部支部所属)